

令 和 4 年 度

事 業 報 告 書

学校法人清水国際学園

## 目 次

はじめに	1
I 法人の概要	2
沿革	4
令和4年度校務分掌組織図、委員会	5
設置する学校・学科、役員・教職員の概要	6
II 令和4年度事業報告	7
令和4年度決算について	9
III 財務の概要（付属資料）	13

## は　じ　め　に

本校は今年で創立 90 年目を迎えることができましたが、ここ数年生徒数の減少が続き、学校としては大変な時期に入ろうとしています。

厚生労働省の人口動態統計で 2022 年の出生数（速報値）は前年比 5.1% 減の 79 万 9728 人で 1899 年の統計開始以来、初めて 80 万人を下回りました。

本校がある静岡県の出生者数をみると 1973 年の 6 万 3588 人をピークに 80 年代には 5 万人を割り、90 年代には 3 万人台と減り続け、2014 年にはついに 2 万人台になりました。2022 年の出生者数（速報値）は 2 万 1772 人でした。この 50 年の間に 7 割近く減ったことになります。

令和 4 年度における静岡県内の中学校卒業者数は 3 万 2748 人、うち全日制高校への進学者は 2 万 9676 人（うち、公立高校 1 万 8301 人（61.7%）、私立高校 1 万 1375 人（38.3%））でした。昨年生まれた子が高校へ進学する 16 年後を令和 4 年度と同じ比率で進学するものとして換算すると私立高校へは 7,554 人と令和 4 年度より 34.6% も減少します。

静岡市のホームページの中に「静岡市男女別・年齢階級別人口（総数）令和 5 年 3 月 31 日現在」という資料がありますが、そこには 0 歳から 100 歳以上までの 1 歳ごとの男女別の人口が掲載されています。それを見ると高校へ進学する生徒の年齢にあたる 16 歳の市全体の人口は 5,867 人、そして 16 年後に高校へ進学する年齢にあたる 0 歳は 3,886 人と 33.8% も減少しています。令和 10 年までは 5,500 人台、令和 15 年までは 5,000 人台と続きますが、令和 21 年には一気に 3,000 人台になります。県の統計も静岡市の統計もいずれも出生者数が 33~4% 減少することを示しています。

当校では昨年度より、科とコースの改革を行ない女子のみを募集していた情報ビジネス科を IT ビジネス科と改称し男女共学としました。IT ビジネス科としての定員 70 名に対し昨年度は 71 名入学し、今年度の入学者数は 75 名でした。しかし、普通科への入学者数が大幅に未達であり学校全体の入学定員 250 名に対し入学者は 164 名でした。高校に対する中学生や保護者の期待は年々変わっていきます。進学や就職を希望する中学生及びその保護者が入学したい高校を目指し学校の中を改革していく所存です。教職員全員で一丸となって取り組んでまいりますので、理事・評議員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいいたします。

## I. 法人の概要

### 1. 本校の目的

本校は、教育基本法及び学校教育法にもとづき、生徒に高等普通教育及び専門教育を施し、キリスト教教義による人格の完成をはかり、平和的な国家および社会の一員として、真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、協和の精神に満ち、平和と人類福祉に貢献する人間性豊かな国際人を育てることを目的としている。

### 2. 教育の方針

本校は昭和8年（1933）、故市毛金太郎先生ならびに故市毛道先生によって設立された清水裁縫女学校、清水商業女学校が前身である。創立者の信仰がやがて昭和24年キリスト教学校教育同盟への加盟を実現し、以来キリスト教の教義を基にして教育を行ってきているものである。したがって、一般の学校では見られない宗教的情操を養い、宗教的信念の確立を目指している。

そのため、本校では一貫した教育方針により、教育基本法にのっとり、人格の完成を目指し、平和な国家および社会の有為な形成者として、自主的精神にみちた、心身ともに健全な国民の育成を期している。さらに建学の精神に基づき、長年の伝統と使命によって、豊かな情操と徳性を培うことを特に強調している。最後に、キリストの「隣人を自分のように愛しなさい。」という教えを身につけ、語学力を向上させ、国際社会で活躍できる人間を教育することを方針としている。

### 3. 校訓の意味

「至誠貫一生 勤労當百事 協和期万全」の校訓は、学校生活はもちろん、社会人と

なっても真摯な態度でことに当たり、誠実に生きることを求めると共に、勤勉さを美德とし、すべてに全力をあげて打ち込むことを教えていた。そして社会に生きる時に、自己の本領を失わずに、他と協調して、正しい生活が送れるようにせよ、というものである。これは、神

の恩恵によって尊い人生を稟け、恩愛深い父母のもとで成長し、現代の文化を享受しながら、社会に連帶していく青年が、いかに努力すべきかの指針を与えたものであり、細川潤次郎氏の賛讃した名句を初代校長市毛金太郎氏が感銘をうけてあえて制定したものである。

### 4. 校章の意味

人類の平和と福祉に貢献できる人材の育成を目指している本校は、創立以来60年間、女子教育に力を注いできたが、国際化社会を迎える、平成6年、男女共学の学校に生まれ変わった。校章も新しくし、新たな飛躍へ踏み出した。

中央上の十字架は、本校が、神様の導きのもとに進む学校であることを示している。

地球は、国際社会をイメージし、緑の大地と青い海、コバルトの空が輝くこの美しい地球の平和と環境を守り21世紀の国際社会で活躍できる人材の育成を目指す学校であることを意味している。

また、本校は、清らかな富士山を仰ぎ見る清水の地にあるので、左右の曲線と白抜きで、美しい富士山と白い雪を表現した。生徒が、富士山のように、清く大きく成長するようにとの願いが込められている。

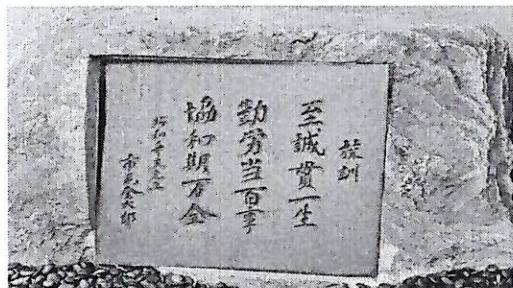
## 5. 校歌の意味

校歌には、本校の校訓の三本柱である「至誠・勤労・協和」が、またこの郷土清水の美しい風景である「富士の峰」「駿河湾」「三保の松」が読み込まれている。

そして、本校の教育の理想でもあり、若人の夢を育てる学園という願いを込めて「磨けよ心の鏡を」「励みいそしみ栄ゆく御代に新たに放てよ眼を」「操正しくゑまひを幸を豊かにみたせよ天地に」とうたいあげている。

作詞は、初代校長市毛金太郎氏の後輩にあたり、「ぎんぎんぎらぎら夕日がしずむ」の作詞者である葛原しげる氏くず はら、作曲は童謡作曲家で著名な弘田竜太郎氏で、正式に完成したのは、昭和15年である。

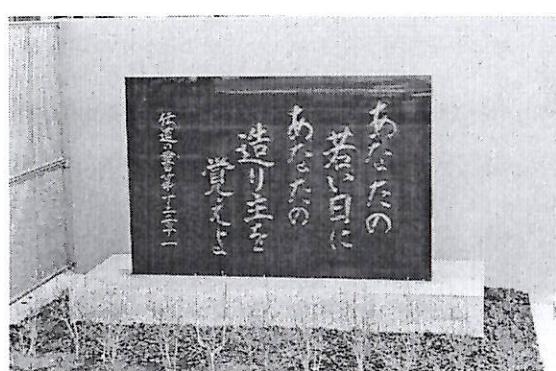
## 6. 歴史を刻む校庭の石碑



校訓の碑

「至誠貫一生 勤労當百事 協和期万全」

昭和50年(1975)度卒業生が卒業記念に建てた。  
前年度には創立40周年の式典が挙行された。  
校訓の字は初代校長市毛金太郎先生が昭和36年に書かれたもの。



聖句の碑

「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ」

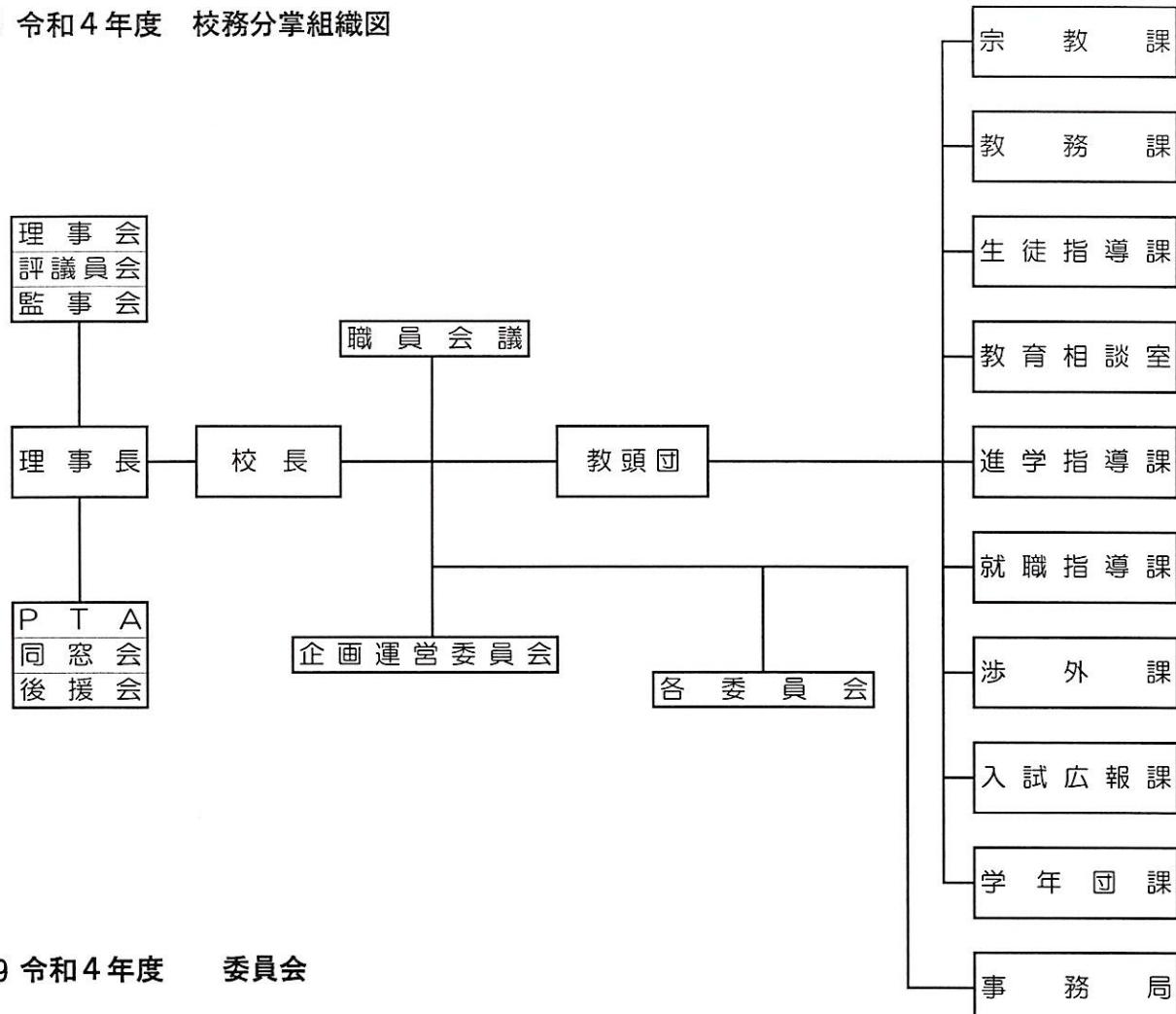
市毛金太郎先生が本校の設立にあたって思い願った聖句で、現在は「コヘレトの言葉 12章1節」に「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ」と訳されている。

碑は昭和59年(1984)の秋に、創立50周年を記念し、全能なる神様の豊かなお恵みとお導きにより、学園に学ぶ生徒が喜びと希望と感謝に満ちた日々を過ごすことを祈って建てられた。

## 7. 沿革

- 昭和 8. 10. 1 清水裁縫女学校設立を認可された。
11. 5 清水商業女学校設立を認可された。
9. 4. 5 市毛金太郎氏 初代校長に就任。  
清水商業女学校・清水裁縫女学校第1回入学式を挙行。
10. 4. 30 文部大臣の許可を受けて、清水女子商業学校と改称。  
以後、この日を開校記念日とする。
18. 3. 22 財団法人市毛学園の設立を許可された。
4. 2 中学校令の改正により、前記2校併合し、清水女子商業高校となった。
22. 4. 5 新学制に基づいて、清水女子中学校を設置。
23. 4. 5 清水女子商業学校の組織を変更し、新学制による清水女子高等学校を設立。
24. 10. 30 日本キリスト教学校教育同盟に加盟。
25. 12. 7 学校法人清水女子学園の設立を認可された。
44. 10. 17 市毛金太郎校長 92歳をもって召天された。
44. 10. 23 市毛陽二郎氏 校長に就任。 (至 平成12年3月31日まで)
57. 7. 30 市毛道理事長 89歳をもって召天された。
8. 7 市毛陽二郎氏 理事長に就任。
- 平成 6. 4. 1 学校法人清水国際学園 清水国際高等学校・清水国際中学校に改称。  
高校を共学制とする。
10. 4. 1 清水国際中学校も共学制実施。
12. 4. 1 市毛陽二郎氏 学園長に就任。牧野彰夫氏 校長に就任 (同年5月18日退任)
12. 6. 26 山内昭二氏 校長に就任。 (至 平成20年3月31日まで)
15. 10. 8 市毛陽二郎理事長・学園長 79歳をもって召天された。
11. 5 山内昭二氏 理事長に就任。 (至 平成26年3月31日まで)
19. 4. 1 清水国際中学校の生徒募集停止。
20. 4. 1 湯浅邦次氏 校長に就任。 (至 平成26年3月31日まで)
23. 4. 1 既設校舎の改築・耐震補強工事に着手。
25. 3. 18 本館(新築)、別館(耐震補強)、弓道場・部室(新築)、グランドが完成。
25. 10. 25 創立80周年記念式典及び新校舎竣工式を挙行。
26. 4. 1 湯浅邦次氏 理事長に、平等民雄氏 校長に就任。 (至 令和3年3月31日まで)
- 令和 3. 4. 1 平等民雄氏 理事長兼校長に就任。 (至 令和5年3月31日まで)
4. 4. 1 前田利久氏 校長に就任。  
情報ビジネス科をITビジネス科に改称し、共学とする。
5. 4. 1 水野克彦氏 理事長に就任。

## 8 令和4年度 校務分掌組織図



## 9 令和4年度 委員会

生徒指導検討委員会	木 内	校長・教頭団・各学年主任・生徒指導課
いじめ対策委員会	木 内	校長・教頭団・生徒指導課長・宗教課長・教育相談室長・学年主任・養護教諭
教育課程検討委員会	古 荘	校長・教頭団・各教科主任・進路指導課長・教務課
特別教育活動委員会	浮 須	教頭団・保健指導主事・生徒指導課
修学旅行実行委員会	教 頭	教頭・各学年主任・浮須・太田
学校保健委員会	佐 野 真	教頭団・保健指導主事
入試広報委員会	笠 井	校長・教頭団・各分掌課長・各学年主任
将来計画策定委員会	校 長	校長・教頭団・各分掌課長・学年主任・事務長・会計長
環境教育委員会	風 間	教頭団・生徒指導課・各学年主任
国際教育推進委員会	鈴 木	教頭団・教務課長・国際教育係・英語科
防災委員会	川 合	校長・教頭団・生徒指導課・各学年主任・事務長・会計長
情報教育推進委員会	古 荘	教頭団・情報科
制服検討委員会	相 澤	薮田・伊藤・漆畑・家庭科・各学年主任
安全衛生委員会	校 長	教頭団・事務長・会計長・衛生管理者・産業医・組合執行委員長・組合副委員長
ハラスメント委員会	校 長	教頭団・事務長・会計長・相談室長

## 10. 設置する学校・学科・入学定員・在籍生徒数

令和4年4月1日現在

学科名	(人)				(人)				(クラス)			
	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計
普通通	180	180	180	540	98	88	119	305	4	3	5	14
うち男子					53	67	75	195				
うち女子					42	21	44	107				
ITビジネス科	70	70	70	210	73	0	0	73	3	0	0	3
うち男子					45	0	0	45				
うち女子					28	0	0	28				
情報ビジネス(女子)					0	22	40	62				
合 計	250	250	250	750	168	110	159	437	7	4	7	20
うち男子					98	67	75	240				
うち女子					70	43	84	197				

学科名	(人)				(人)				(クラス)			
	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計
中学校	150	150	150	450	0	0	0	0	0	0	0	0

※中学校は平成19年度より生徒募集を停止している。

## 11. 役員・教職員の概要

### 理事等の数

選任区分	定数	実数	任期
校長	1人	1人	一
評議員	1人	1人	3年
学識経験者	3人	3人	3年
宗教関係	1人	1人	3年
理事計	6人	6人	
監事	2人	2人	3年

### 評議員の数

選任区分	定数	実数	任期
教職員	2人	2人	3年
卒業生	3人	3人	3年
保護者	2人	2人	3年
学識経験者	6人	6人	3年
評議員計	13人	13人	

### 教職員数 (令和4年4月1日現在)

区分	男	女	計
校長	1人		1人
教頭	2人		2人
副教頭	1人		1人
教諭	16人	10人	26人
養護教諭		1人	1人
常勤講師	6人	1人	7人
非常勤講師	5人	6人	11人
教員計	31人	18人	49人
事務職員	3人	2人	5人
実習助手(ALT)		1人	1人
その他	1人		1人
職員計	4人	3人	7人
教職員計	35人	21人	56人

## II. 令和4年度 事業報告

### 【1】 建学の精神

「社会で自立できる人材の育成」を目標に、「至誠」「勤労」「協和」の校訓とキリスト教の「隣人愛」の精神による教育。

### 【2】 本年度の重点目標

- (1) 挨拶を通じた人づくり。
- (2) 主体的な学びで、学力向上を図る。
- (3) きめ細かな進路指導で、より良い進路実現を図る。
- (4) 選挙権年齢・成年年齢引き下げに対応した指導。

### 【3】 具体的方策

- (1) 挨拶を通じた人づくり。
  - ① 学級・学年・授業・分掌・生徒会・部活動を挙げての取り組み。
  - ② 挨拶の意義を考えさせる。
  - ③ その場にふさわしい挨拶とマナーを考えさせ、実践に移していく。
  - ④ 実践の範囲を広げていく。
  - ⑤ 挨拶を通じて「その子」に何かしらの成長が見られたら、高く評価してあげる。
- (2) 主体的な学びで、学力向上を図る。
  - ① ICT機器を活用した「わかる授業」「楽しい授業」「身に付く授業」の実践。
  - ② マナトレ・国際サポートの見直し・改善と、補習・講座の充実。
  - ③ アクティブラーニングや探究学習による、思考・判断・表現力の伸長。
- (3) きめ細かな進路指導で、より良い進路実現を図る。
  - ① 新たな科・コースの編成により、1年次から進路を明確にし、段階的な指導を行う。
  - ② 個人面談を充実させ、教員が連携して指導に当たる。
  - ③ 高大連携や地元企業との連携強化。
- (4) 選挙権年齢・成年年齢引き下げに対応した指導。
  - ① 権利と責任についての教育。
  - ② 「公共」の授業による参政権と「家庭総合」の授業による消費者教育。
  - ③ 講師による講演や、ポスター作成・投票所の手伝い等の奨励。

### 【4】 その他の重点項目

- ① HPやSNSを通じた積極的な広報活動。
- ② コロナ禍にあっても、生徒がチャレンジ、活躍できる場を増やし、その努力の過程を評価。
- ③ 多様な問題を抱える生徒に対応するため、相談室・保健室からの情報（メンタル・家庭環境・身体・健康上の問題点など）共有と教員の研修。
- ④ 職員の出勤は正装。
- ⑤ 礼拝入場時は生徒のみならず、教員もしっかりとした服装で臨む。
- ⑥ 授業がない時の企画運営会議、職員会議は正装。
- ⑦ 生徒に5分前行動を呼びかけているなか、教員も余裕をもって出勤する。

## 【 5 】学校法人における事業の概要

### 1. 理事会・評議員会の開催

開催日： 令和 4 年 5 月 20 日 (金)

令和 5 年 3 月 10 日 (金)

#### 主な議題

- ①学校法人清水国際学園理事の改選について
- ②学校法人清水国際学園理事長の改選について
- ③学校法人清水国際学園評議員の選任について
- ④令和 3 年度事業報告および決算・監査報告について
- ⑤令和 4 年度補正予算について
- ⑥令和 5 年度当初予算について
- ⑦令和 5 年度事業計画について
- ⑧借入金限度額及び当座貸越契約について
- ⑨育児休業規程及び介護休業規程の改正について
- ⑩教職員給与規程の改正について
- ⑪私立学校法改正に伴う役員等賠償責任保険契約の内容の決定について
- ⑫その他

### 2. 教職員の採用及び退職について

#### ① 令和 4 年度の退職者

7 名 (内訳：教諭 2 名、非常勤講師 4 名、事務職 1 名)

#### ② 令和 5 年度新規採用者

7 名 (内訳：常勤講師 3 名、非常勤講師 3 名、事務職 1 名)

## 【 6 】令和4年度決算について

### ※資金収支決算の概要

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動におけるすべての収入と支出を明らかにして、支払資金の顛末をあらわす計算書です。この計算書の特徴は、収入と支出をすべて現金預金で行なわれたものと見做して表示し、実際には当該年度の現金預金の収支ではない期末未収入金、前期末前受金、期末未払金などを資金収支の調整勘定として差引調整計算することで期末における現金預金残高を翌年度繰越支払資金として表示するところに特徴があります。

今期は在籍生徒数が 437 名と前年度に比べ 2 名増加しました。

前期繰越金として普通預金と手元現金が併せて 266,575 千円あり、収入としては、授業料・入学金等の学生生徒納付金 187,513 千円、補助金 247,300 千円、寄付金収入 15,776 千円、令和 5 年度に入学する生徒の入学金等の前受金 28,085 千円、借入金 127,000 円等を計上しました。

一方、支出として人件費 332,723 千円（うち退職金支払額 10,047 千円）、経費として教育研究経費と管理経費を合わせ 102,563 千円、設備関係支出に 5,534 千円、借入金支払利息 4,087 千円、借入金返済 174,501 千円等を計上した結果、次期繰越金として 238,401 千円（前年度比△28,174 千円）残すことができました。

### ※事業活動収支決算の概要

事業活動収支計算書を作成する目的には 2 つあります。ひとつは、1 年間の教育活動、教育活動以外の経常的な活動、その他の活動の 3 つの活動区分に集計される事業活動収入と事業活動支出のそれぞれの内容を明らかにすることです。経常的な収支（教育活動収支と教育活動外収支）と臨時的な収支（特別収支）の各区分ごとの収支の状態を明らかにします。ここで用いられる「事業活動収入」とは学校法人の負債とならない収入のことをいい、「事業活動支出」には資金収支計算書の支出と違って、実際には現金預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含めた金額となります。

ふたつめは、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにすることです。学校法人は本来、収支均衡を目指す非営利法人で、学校に入ってきた事業活動収入を事業活動支出という形で生徒に還元し、収支を均衡させることを目的としています。よって、当該会計年度において基本金組入額を控除した当該会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入および事業活動支出の均衡の状態を明らかにするため、事業活動収支計算書を作成するものです。事業活動収支計算書は一般企業の損益計算書にあたり、採算の取れた経営をしているか、儲かっているかも判断できますが、企業と違い利益を追及しているわけではないので、利益・損失という言葉の代わりに「収支差額」と言っています。

【教育活動収支：事業活動収入の部】

① 学生生徒等納付金 : 187,513 千円 (前期比 +8,235 千円)

減少額 50,075 千円の内訳

①授業料 生徒数減少により前期比△265 千円

②入学金及び施設整備費 前期比 +8,500 千円

② 手数料収入 : 3,096 千円 (前期比△99 千円)

減少理由：受験者数が前期比 9 名減少。

③ 寄付金 : 15,776 千円 (前期比 +2,136 千円)

内訳：卒業生からの寄付金 1,884 千円 (前期比 +120 千円)、

PTA から教室の冷暖房費及び部活動手当援助として 8,382 千円

後援会より 5,000 千円、企業からの寄付金 400 千円等

④ 補助金 : 247,300 千円 (前期比 +11,141 千円)

補助金の主なもの

①国庫補助金

文部科学省：学校保健特別対策事業費補助金 1,125 千円

②県補助金

経常費補助金 217,557 千円

授業料減免事業費補助金 19,135 千円

スクールカウンセラー・就学支援金事務費補助金 1,024 千円

私立学校物価高騰対策支援金 1,093 千円

私立学校教育環境整備事業費補助金 4,499 千円

県補助金合計 243,308 千円

③市町村補助金・・・静岡市私立学校振興補助金等 2,867 千円

⑤ 付隨事業収入：補助活動収入 (業者からの販売手数料他) 1,042 千円

受託事業収入：NHK 学園協力校経費 1,570 千円

⑥ 雑収入 : 20,076 千円 (前期比 +16,577 千円)

うち 退職社団交付金 : 12,013 千円 (前期比 +9,776 千円)

(退職者に対する退職金支払資金)

⑦ 教育活動収入計 : 476,373 千円 (前期比 +38,024 千円) . . . . . A

【教育活動収支：事業活動支出の部】

① 人件費

人件費総額では今期 334,354 千円と、前期に比べ 20,453 千円増加した。

教員の人工費で 12,310 千円、退職金支払で 7,123 千円増加が、主な理由である。

② 教育研究経費

155,599 千円（うち減価償却費 67,739 千円）（前期比 +21,889 千円）

前期比 2 百万円以上増減した費目

消耗品費	△8,156 千円
光熱水費	+2,458 千円
修繕費	+31,491 千円
奨学費	△2,654 千円

・増加理由

光熱水費は電気料の値上げによる。

修繕費は、校舎内及びグランドの照明を全て LED 照明に切り替えた交換費用が 25,814 円、協和館雨漏り補修工事 2,201 千円、自火報設備の消耗品類交換 1,727 千円、受水槽設備修理費 854 千円等が増加した理由。

・減少理由

消耗品費は、前期は ICT 関連機器の購入費計 9,842 千円が含まれたため。

奨学費は、学習特待・運動特待等の特待生が前年より減少したため。

③ 管理経費

31,101 千円（うち減価償却費 16,397 千円）（前期比 +1,075 千円）

前期比 2 百万円以上増減した費目・・・なし

④ 教育活動支出計：521,054 千円（前期比 +43,417 千円）・・・B

**教育活動収支差額** (A - B) = △44,681 千円（前期比△5,387 千円）・・・C

【教育活動外収支：事業活動収入の部】

① 受取利息・配当金：416 千円（前期比△46 千円）・・・D

【教育活動外収支：事業活動支出の部】

① 借入金等利息

4,087 千円（前期比△656 千円減少）・・・E

**教育活動外収支差額** (D-E) = △3,671 千円（前期比+610 千円）・・・F

**経常収支差額** (C+F) = △48,352 千円（前期比△4,783 千円）・・・G

【特別収支：事業活動収入の部】

その他の特別収入

0千円 (前期比△7,386千円) . . . . . H

【特別収支：事業活動支出の部】

0千円 (前期比0千円) . . . . . I

特別収支差額 (H-I) = 0千円 (前期比△7,386千円) . . . . . J

基本金組入前当年度収支差額

(G+J) = △48,352千円 (前期比△12,169千円) . . . . . K

基本金組入額合計 : 0千円 (前期比+81,585千円) . . . . . L

今年度の固定資産純増加額を計上 (借入金により増加したものと除く)。

今年度の固定資産の増加額 5,534 千円から減少額△86,006 千円を引いた額 (△80,472 千円) に新校舎関係建設費等長期借入金の今期約定返済分 63,009 千円を足した金額が△17,463 千円とマイナスになるため基本金組入額は 0 円となる。

当年度収支差額 (K+L) = △48,352千円 (前期比+69,416千円) . . . M

基本金取崩額 = 17,463千円 . . . . . N

前年度繰越収支差額 = 74,083千円 (前期比△117,768千円) . . . . . O

翌年度繰越収支差額 43,194千円 (前期比△30,889千円)

上記のように、令和 4 年度事業活動収支は生徒数が前年度とほぼ同数であったが補助金等の増加により教育活動収入はやや増加した。しかし人件費や修繕費が増加したため経常収支差額は前年度より更に赤字幅が増加した。事業活動収支計算書下段の（参考）欄に記載されている「事業活動収入計」から「事業活動支出計」を引いた差額は前期より 12,170 千円増加しています。この差額をどうやってプラスに持っていくかが令和 5 年以降も当学園に与えられた宿題です。

学校を安定的に存続していくためには生徒数を安定的に確保していくことが、非常に大切であり、中学生及びその保護者に選ばれる学校となるにはどうすれば良いのか、少子化の進む中で学校経営の最も大きな課題です。